

[補足] 嫌気性菌を疑う場合の嫌気ポーターへの材料接種法

嫌気性菌を疑う場合、注射器で非開放性膿などを採取する

- ① 消毒用アルコールで嫌気ポーターのゴム栓を十分に消毒し完全に乾燥させる
- ② 検体採取後の注射器をゴム栓刺入部に穿刺し検体を注入する
- ③ ジップ付きポリ袋を使用するなど搬送時の環境汚染や二次感染を防ぐ処置を施した後、検査室に速やかに提出する

